

●公益法人Ⅲα Version 6.601、公益法人α Version 7.601

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ 「新規会社登録・修正・削除」業務起動時に、登録済みの会社選択画面（一覧表示及び選択処理）を表示するように改良しました。新規登録は新規作成 [F12] を選択します。
- ◆ 銀行データ受信（FinTech 対応）リリースに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

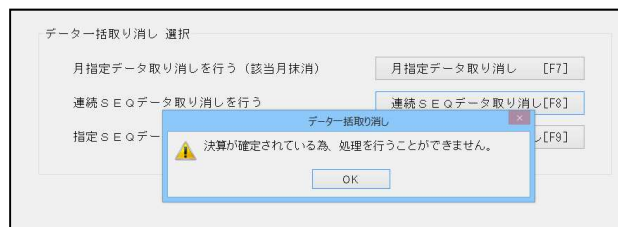
※詳細は、次ページからの“公益法人Ⅲα（VERSION:6.601）、公益法人α（VERSION:7.601）の変更点”を参照してください。

改良内容

I. 導入・更新

1) データー一括取り消し

- ・決算未確定の過年度マスターのデーター一括取り消しを可能としました。
決算確定している過年度マスターを選択した場合、下記メッセージを表示し、メニュー画面に戻ります。



II. 登録・入力

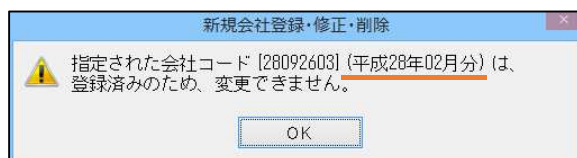
1) 新規会社登録・修正・削除

①会社選択

- ・業務起動時に登録済みのマスター選択画面（一覧表示及び選択処理）を表示するようにしました。
マスター新規登録は新規作成 [F12] を選択します。

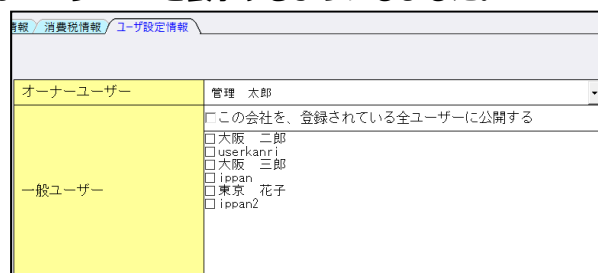
②会社コード変更

- ・過年度マスターの会社コード変更時、変更先の会社コードが既に存在する場合のメッセージ
“指定された会社コード[*****] (16年02月分) は登録済みのため、変更できません。”の
「年」を西暦表示（2桁）から和暦表示（元号+2桁）に変更しました。



③ユーザ設定情報

- ・オーナーユーザー、一般ユーザーの表示方法を変更しました。氏名の入力があれば氏名を表示し、氏名の入力がない場合はユーザーIDを表示するようにしました。



2) 科目設定・残高登録

①残高登録

- ・部門別の「科目残高登録」「枝番残高登録」で、合計転記の設定に対応しました。
各項目にカーソルを止めると「Home 合計転記」が有効になります。

科目	摘要	借方金額	貸方金額	合計
0001	1 1月分	100,000		<合>
0002	2 2月分	200,000		<合>
0003	3 3月分	300,000		<合>
0004	4 4月分	0		<合>
0005	5 5月分	0		<合>
0006	6 6月分	0		<合>
0007	7 7月分	0		<合>

Ⅲ. 出力

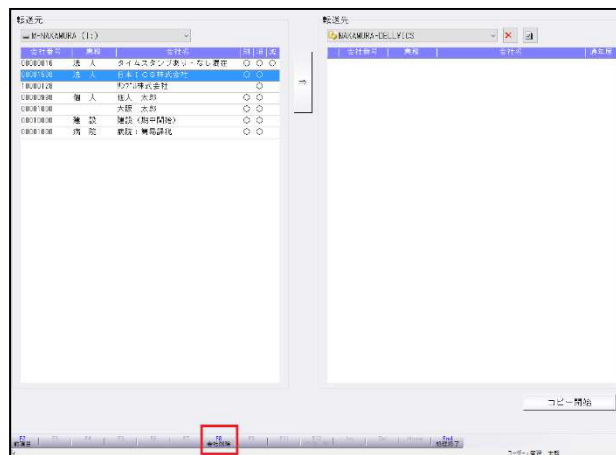
1) 総勘定元帳

- ・部門別の科目残高、枝番残高登録画面での合計転記登録の改良に伴う対応を行いました。

Ⅳ. 通信・移動

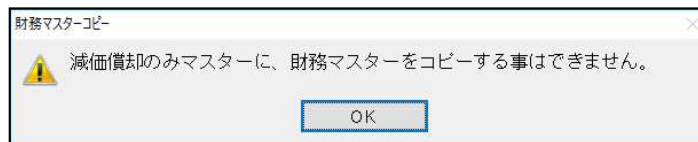
1) 財務マスターコピー

- ①FinTech に対応しました。
- ②メディア内の会社削除に対応しました。
 - ・U S B等の外部メディアにコピーされているマスターを個別に削除できるように対応しました。転送元にメディアを選択した場合に「F8 会社削除」が有効になります。削除したいマスターにカーソルを止めて、「F8 会社削除」を押すことで削除できます。



③その他改良

- ・メディアを使用して財務 d b と減価償却 d b が共存しているマスターを移動させる際に、先に減価償却 d b をデータベースに転送し、その後財務 d b を転送しようとした時のエラーメッセージを変更しました。



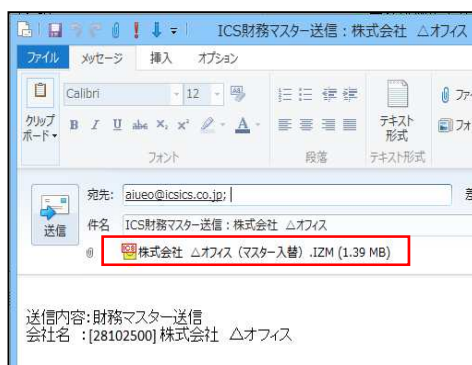
2) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ①FinTech に対応しました。
- ②メール送信時の添付ファイル名に会社名を反映するようにしました。
 - ・メール送信時もメディア転送と同様にファイル名に会社名を反映するようにしました。

例) マスター全体入替でメール送信した場合

対応前 : MAIL.IZM

対応後 : ○○○株式会社 (マスター入替) .IZM



③前回設定情報をマスター単位で保存するようにしました。

- ・前回送信時の移動方法・送信先・処理選択・F6 転送種別設定を PC 単位で保存していたのをマスター単位で保存するようにしました。

修正

I. 登録・入力

1) 科目設定・残高登録

- ・枝番コードを変更する際、既に登録済みの枝番コードを入力すると「既に登録されています。」と表示された後、枝番名称が登録済みコードの枝番名称に変更されていたのを修正しました。
- ・複数科目の一括登録で、カナ欄を入力するとアルファベットが入り、エラーで動作停止していたのを修正しました。

II. 通信・移動

1) 財務マスターコピー

- ・過年度マスターを USB にコピーした後、同じ会社の当年度マスターのみを追加保存を行った場合に、当年度のみを USB からデータベースにコピーすることができなかったのを修正しました。

以上